



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 住友金属鉱山株式会社
コード番号 5713 URL <http://www.smm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中里 佳明
問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部担当部長 (氏名) 宮本 邦彦 TEL 03-3436-7705
四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	611,672	4.3	56,446	△6.8	86,717	22.2	61,023	9.8
25年3月期第3四半期	586,259	△8.7	60,550	△2.6	70,983	△13.3	55,564	18.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 134,509百万円 (141.8%) 25年3月期第3四半期 55,618百万円 (213.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	110.51	98.62
25年3月期第3四半期	99.50	91.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,510,004	965,069	57.7
25年3月期	1,351,153	844,547	56.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 870,628百万円 25年3月期 769,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	14.00	-	20.00	34.00
26年3月期	-	17.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	827,000	2.3	72,000	△24.8	107,000	△7.0	75,000	△13.4	135.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報（注記情報）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	581,628,031株	25年3月期	581,628,031株
26年3月期3Q	29,457,931株	25年3月期	29,410,627株
26年3月期3Q	552,195,097株	25年3月期3Q	558,409,009株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年11月8日に公表いたしました平成26年3月期通期業績予想について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料は平成26年2月7日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 海外相場・為替	13
(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高（当社）	13
(3) 製品別生産量（当社）	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済の回復が継続しており、欧州景気の下げ止まりと主要な新興国における成長ペースの安定化により、総じてプラス成長を維持しました。国内経済は、円安による輸出環境の回復と堅調な個人消費などから着実な改善がみられました。

非鉄金属業界におきましては、ニッケル及び銅価格は、下落傾向が継続しておりましたが、景気の先行きへの警戒感が和らいだことなどから一旦下げ止まり、狭いレンジでの値動きとなりました。金価格は、米国の景気回復による投資資金の流出により、一段と下値を探る状況が継続しました。エレクトロニクス関連業界におきましては、薄型テレビの需要は依然低調でしたが、高機能携帯端末や家電向けの需要などは好調な状況を維持しました。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は、円安などにより前年同期間に比べ254億13百万円増加し、6,116億72百万円となりました。営業利益は、円安による好転があったものの金属価格の下落などにより前年同期間に比べ41億4百万円減少し、564億46百万円となりました。経常利益は、持分法による投資利益及び為替差益の好転などにより前年同期間に比べ157億34百万円増加し、867億17百万円となりました。四半期純利益は、前年同期間に比べ54億59百万円増加し、610億23百万円となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントに組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましてはP11「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 資源セグメント

菱刈鉱山は計画どおりの生産を維持しております。ポゴ金鉱山の産金量及び販売量は前年同期間を上回りました。モレンシー銅鉱山では、生産量は前年同期間を上回りましたが、販売量は前年同期間を下回りました。円安などにより前年同期間に比べ増収となりましたが、銅及び金価格の下落や一部の海外銅鉱山での減産等により、セグメント利益は前年同期間を下回りました。

売上高は、前年同期間に比べ26億94百万円増加し834億89百万円となりましたが、セグメント利益は、前年同期間に比べ10億79百万円減少し、499億41百万円となりました。

② 製錬セグメント

販売量はニッケルについては前年同期間並みとなりましたが、銅については前年同期間に比べ減少しました。金属価格は前年同期間を下回りましたが、円安などにより増収となりました。また、増収及び持分法による投資利益の好転などにより、セグメント利益は前年同期間を上回りました。

売上高は、前年同期間に比べ79億29百万円増加し4,644億85百万円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ51億12百万円増加し、223億84百万円となりました。

③ 材料セグメント

ボンディングワイヤー事業からの撤退により、前年同期間に比べ売上高は減少しました。しかしながら、高機能携帯端末向け、車載用電池向け及びリードフレームの家電向けなどの需要が好調であったことなどによりそれぞれ増収となったことから、セグメント利益は前年同期間を上回りました。

売上高は、前年同期間に比べ90億21百万円減少し1,134億93百万円となりましたが、セグメント利益は、前年同期間に比べ67億86百万円増加し、83億83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、タガニートプロジェクトに関する建設仮勘定の増加や、投資有価証券及び長期貸付金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,589億円増加し、1兆5,100億円となりました。

一方、負債合計は、未払法人税等の減少などがありましたが、タガニートプロジェクトのための借入金増加などにより、前連結会計年度末に比べ383億円増加し、5,449億円となりました。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,205億円増加し9,651億円となり、自己資本比率は57.7%（前連結会計年度末は56.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、緩やかな回復の見通しですが、米国の金融緩和縮小の新興国経済への影響などの懸念もあり先行きは不透明なものとなっております。国内経済は、円安による輸出環境の回復に牽引され、着実な改善を見せておりますが、依然として海外景気の影響を受ける懸念が残ります。

非鉄金属業界におきましては、長期的には、中国をはじめとする新興国は成長期待が高いため非鉄金属の需要は底堅く、金属価格も堅調に推移するものと見込まれますが、当面は景気の動きを見極めながら小幅な値動きに留まる状況が続くものと見込まれます。

このように経済情勢としては急速に先行きへの不透明感が生じつつありますが、為替が前回予想（平成25年11月8日公表）に比べ円安となることなどから、通期の連結業績につきましては、前回予想に比べ、営業利益及び経常利益が1.4～3.9%増加する見通しであります。

通期の報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益の予想数値は以下のとおりであります。（参考：セグメント利益は（四半期）連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。）

なお、配当予想については、据え置くこととしております。

26年3月期通期 連結業績予想（今回修正）

（単位：百万円）

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	113,000	629,000	152,000	894,000	21,000	△88,000	827,000
セグメント利益	67,000	29,000	9,000	105,000	1,000	1,000	107,000

ご参考：26年3月期通期 連結業績予想（前回予想）

（単位：百万円）

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	110,000	619,000	149,000	878,000	21,000	△87,000	812,000
セグメント利益	67,000	28,000	8,000	103,000	1,000	△1,000	103,000

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,791	72,469
受取手形及び売掛金	92,127	88,150
有価証券	158,000	133,400
商品及び製品	62,469	56,577
仕掛品	40,299	50,704
原材料及び貯蔵品	40,194	45,535
その他	74,624	74,097
貸倒引当金	△252	△286
流動資産合計	550,252	520,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	88,663	92,726
機械装置及び運搬具（純額）	90,837	93,732
工具、器具及び備品（純額）	4,375	4,227
土地	26,459	26,757
建設仮勘定	131,733	173,740
有形固定資産合計	342,067	391,182
無形固定資産		
鉱業権	7,013	6,679
その他	3,368	3,533
無形固定資産合計	10,381	10,212
投資その他の資産		
投資有価証券	396,223	490,718
その他	52,446	97,461
貸倒引当金	△210	△209
投資損失引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	448,453	587,964
固定資産合計	800,901	989,358
資産合計	1,351,153	1,510,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,212	35,458
短期借入金	67,750	86,613
未払法人税等	20,279	7,648
賞与引当金	3,546	1,933
休炉工事引当金	758	84
事業再編損失引当金	8	9
環境対策引当金	66	31
その他の引当金	346	132
その他	83,421	79,531
流動負債合計	211,386	211,439
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	212,323	241,358
退職給付引当金	5,701	5,653
役員退職慰労引当金	27	25
事業再編損失引当金	37	—
環境対策引当金	52	44
その他の引当金	238	236
資産除去債務	5,337	6,031
その他	21,505	30,149
固定負債合計	295,220	333,496
負債合計	506,606	544,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,062	86,062
利益剰余金	644,642	686,455
自己株式	△31,895	△31,958
株主資本合計	792,051	833,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,645	42,961
繰延ヘッジ損益	△1,856	△107
為替換算調整勘定	△45,590	△6,027
その他の包括利益累計額合計	△22,801	36,827
少数株主持分	75,297	94,441
純資産合計	844,547	965,069
負債純資産合計	1,351,153	1,510,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	586,259	611,672
売上原価	491,408	518,825
売上総利益	94,851	92,847
販売費及び一般管理費		
販売輸送費及び諸経費	6,454	5,850
給料及び手当	7,643	8,236
賞与引当金繰入額	680	781
退職給付費用	556	454
役員退職慰労引当金繰入額	2	3
研究開発費	4,350	4,790
その他	14,616	16,287
販売費及び一般管理費合計	34,301	36,401
営業利益	60,550	56,446
営業外収益		
受取利息	1,068	2,859
受取配当金	1,440	2,228
デリバティブ評価益	—	374
為替差益	1,176	8,536
持分法による投資利益	9,857	19,367
その他	1,628	1,060
営業外収益合計	15,169	34,424
営業外費用		
支払利息	2,540	2,450
その他	2,196	1,703
営業外費用合計	4,736	4,153
経常利益	70,983	86,717
特別利益		
固定資産売却益	379	166
投資有価証券売却益	154	—
持分変動利益	8,435	—
特別利益合計	8,968	166

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	31	36
固定資産除却損	367	564
投資有価証券評価損	1,278	3
事業再編損	113	—
環境対策引当金繰入額	14	20
持分変動損失	—	101
関係会社株式売却損	—	180
災害損失	12	1
特別損失合計	1,815	905
税金等調整前四半期純利益	78,136	85,978
法人税、住民税及び事業税	15,182	19,116
法人税等調整額	2,334	1,428
法人税等合計	17,516	20,544
少数株主損益調整前四半期純利益	60,620	65,434
少数株主利益	5,056	4,411
四半期純利益	55,564	61,023

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,620	65,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,952	18,298
繰延ヘッジ損益	785	1,674
為替換算調整勘定	△1,057	20,731
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,682	28,372
その他の包括利益合計	△5,002	69,075
四半期包括利益	55,618	134,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,240	120,651
少数株主に係る四半期包括利益	6,378	13,858

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	49,172	424,886	109,960	584,018	2,241	—	586,259
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	31,623	31,670	12,554	75,847	7,200	△83,047	—
計	80,795	456,556	122,514	659,865	9,441	△83,047	586,259
セグメント利益	51,020	17,272	1,597	69,889	1,003	91	70,983

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	54,270	451,797	103,014	609,081	2,591	—	611,672
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,219	12,688	10,479	52,386	11,003	△63,389	—
計	83,489	464,485	113,493	661,467	13,594	△63,389	611,672
セグメント利益	49,941	22,384	8,383	80,708	844	5,165	86,717

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
各報告セグメントに配賦しない本社費用 ※1	△1,138	△1,764
各報告セグメントで負担する社内借入金利息 ※2	589	423
報告セグメント間取引消去	976	△1,165
各報告セグメントに配賦しない営業外損益 ※3	△336	7,671
計	91	5,165

- ※1 各報告セグメントに配賦しない本社費用は、主に報告セグメントに帰属しない費用と一般管理費相当額を各セグメントへ配賦したことによる差額等であります。
- ※2 社内借入金利息とは、社内管理上、各セグメント利益を算出するに際し、財務上金利負担を行っていない親会社の各セグメントに対して、それぞれの管理上の貸借対照表において算定した社内借入金に見合う金利負担額として算出したものであります。
社内借入金利息の算出は、親会社の各セグメントが有する社内借入金に「社内金利率」を乗じております。
「社内金利」は実勢の金利状況を考慮して設定しております。
なお、各セグメントで計上した社内借入金利息の合計額は、同額を「調整額」でマイナス計上しており、全社合計では相殺されるため四半期連結財務諸表上の影響はありません。
- ※3 各報告セグメントに配賦しない営業外損益は、報告セグメントに帰属しない為替差損益及び支払利息等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 各セグメントに属する製品及びサービスの種類

セグメント	主要製品・サービス
資源	国内及び海外における非鉄金属資源の探査、開発、生産及び生産物の販売
製錬	ニッケル、銅、亜鉛の製錬、販売及び金、銀、白金等の貴金属の製錬、販売等
材料	機能性材料であるペースト、粉体材料（ニッケル粉等）、電池材料（水酸化ニッケル等）、結晶材料等の製造、加工及び販売 半導体材料であるリードフレーム、テープ材料（2層めっき基板、COF基板）等の製造、加工及び販売 自動車排ガス処理触媒、化学触媒、石油精製用脱硫触媒、軽量気泡コンクリート等の製造及び販売
その他	エンジニアリング事業、不動産事業等

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（事業セグメントの利益の測定方法の変更）

第1四半期連結会計期間から、各セグメントの業績をより的確に管理することを目的に、共通の一般管理費相当額等を一定の配賦率を用いて各報告セグメントへ配賦することに変更しております。

また、従来各報告セグメントでは、保有資産に社内金利を乗じた「資本コスト」を負担しておりましたが、業績をより的確に管理することを目的に、各セグメントにおける貸借対照表上で設定された社内借入金に対して金利相当を負担することに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益の測定方法により作成しており、「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報」に記載しております。

(重要な後発事象)

(重要な子会社の設立)

当社は、平成26年1月27日開催の当社取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議いたしました。同社は住友金属鉱山チリ社からの新設分割によって設立され、当社の特定子会社に該当いたします。

1. 設立の目的

当社は、現在、チリ共和国においてシエラゴルダ銅鉱山開発プロジェクトを推進しています。本プロジェクトへの出資については、これまで住友金属鉱山チリ社を通じて行ってきましたが、本プロジェクトに特化した投資会社を設立することといたしました。

2. 子会社の概要

- ①会社名 : エスエムエム・エスジー ホールディング インベルシオネス社
(SMM-SG Holding Inversiones Limitada)
- ②所在地 : チリ共和国サンチャゴ市
- ③事業内容 : シエラゴルダ銅鉱山の権益を保有するエス・エム・エム シエラゴルダ インベルシオネス社への投資
- ④資本金 : 486,413千米ドル (予定)
- ⑤持分比率 : 100% (うち、間接所有 0.01%)
- ⑥設立時期 : 平成26年2月17日 (予定)

4. 補足情報

(1) 海外相場・為替

		A	B	(A, B加重平均)	C	A-C
	単位	当第3四半期 累計実績	当第4四半期 予想	平成25年度 予想	前第3四半期 累計実績	対前年同期間 増減(△は減少)
銅	\$/t	7,126	7,300	7,170	7,831	△705
金	\$/TOZ	1,337.7	1,200.0	1,303.3	1,661.2	△323.5
ニッケル	\$/lb	6.47	6.50	6.48	7.63	△1.16
亜鉛	\$/t	1,869	2,000	1,902	1,922	△53
為替 (TTM)	円/\$	99.39	102.00	100.04	80.01	19.38

(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高 (当社)

報告セグメント	製品	単位	当第3四半期累計 (実績)		当第4四半期 (予想)		平成25年度 (予想)	
			自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年4月1日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
資源	金銀鉱	t	109,907		41,010		150,917	
		千円/DMT	182		166		177	
	百万円	19,968		6,806		26,774		
	(金量) (kg)	(5,126)		(1,874)		(7,000)		
製錬	銅	t	313,282		112,800		426,082	
		千円/t	719		765		731	
		百万円	225,130		86,290		311,420	
	金	kg	17,469		6,723		24,192	
		円/g	4,293		3,980		4,206	
		百万円	74,994		26,758		101,752	
	銀	kg	142,657		45,240		187,897	
		千円/kg	71		63		69	
		百万円	10,068		2,863		12,931	
	ニッケル	t	48,974		17,890		66,864	
		千円/t	1,485		1,484		1,485	
		百万円	72,742		26,552		99,294	
	亜鉛	t	27,016		20,538		47,554	
		千円/t	200		218		208	
百万円		5,396		4,481		9,877		
(受託亜鉛含) (t)		(51,926)		(20,538)		(72,464)		
材料	半導体材料 機能性材料	百万円	44,902		14,188		59,090	

(注) 1. 当社は、主要製品の受注生産比率が少なく、主として見込生産によっております。

2. ニッケルには、フェロニッケルを含めて表示しております。

(3) 製品別生産量 (当社)

製品	単位	当第3四半期累計	
		自 平成25年4月1日	至 平成25年12月31日
銅	t	290,292	
金	kg	14,771	
電気ニッケル	t	35,490	
フェロニッケル	t	15,997	
亜鉛	t	37,208	
金銀鉱	t	111,550	
(金量)	(kg)	(5,035)	
亜鉛(委託分)	t	19,809	

- (注) 1. 生産量には、受委託分を含めて表示しております。
2. 亜鉛の委託分は、外数として表示しております。